

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1292 号	氏名	横尾 誠一
学位審査委員		主 査	石松 祐二
		副 査	東 登志夫
		副 査	小関 弘展
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価</p> <p>高齢化が進む日本において、在宅療養高齢者が居住地で安心して生活するために医療福祉サービスの確保と質の向上が求められている。その実現に、高齢者の医療福祉サービスの満足度を明らかにすることが重要であるが、これまでは個別の医療行為やケアなどの各サービスに対する満足度に関する研究が主で、医療福祉サービスの総合的な評価は十分でない。本研究は、在宅療養高齢者の居住地の医療福祉サービスの総合満足度に関連する要因について検討しており、研究の目的は妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>通所リハビリ施設を利用する在宅療養高齢者を対象に、性別、年齢、公費受給、健康不安、医療福祉サービス事業者間の医療情報の共有などの項目を質問し、また、Client Satisfaction Questionnaire 8 項目日本語版 (CSQ-8J: 点数 8~32 点) を利用して医療福祉サービスへの満足度を質問した。各項目において CSQ-8J 得点を比較検討し、さらに重回帰分析を行い CSQ-8J 得点に関連する項目を検討し、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>CSQ-8J 得点は、「公費受給あり」、「病気・治療の情報が医療職者と福祉職者で共有されていると思う」、「健康不安がない」などで有意に高かった。さらに重回帰分析の結果、「病気・治療の情報が医療職者と福祉職者で共有されていると思う」が唯一 CSQ-8J 得点に有意な関連項目であった。本研究は、患者を中心とした関係機関の連携を深め、医療福祉に関する患者情報の共有を明確にする必要性を明らかにしており、今後の医療福祉の研究、臨床応用への進展が期待される。</p> <p>以上のように本論文は地域医療福祉の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			